

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

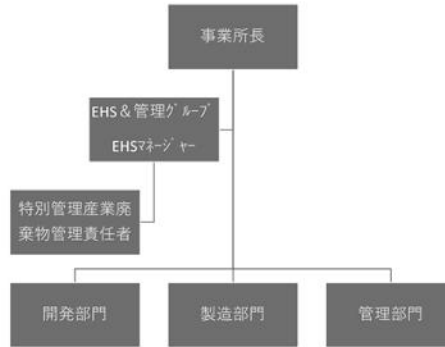
特別管理産業廃棄物処理計画書	
令和4年 4月 1日	
静岡県知事 川勝平太	殿
提出者 住 所 東京都目黒区下目黒一丁目8番1号 アルコタワー 氏 名 メルクエレクトロニクス株式会社 代表取締役 永田 勝 電話番号 03-5434-5270	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	メルクエレクトロニクス株式会社静岡事業所
事業場の所在地	静岡県掛川市千浜3330
計画期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	化学工業(中分類コード:E16)
② 事業の規模	-
③ 従業員数	246名
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	<pre> graph LR subgraph "委託処理の範囲" direction TB subgraph "引火性廃液" A[引火性廃液] --> B[混合イタリオン化] A --> C[焼却] B --> D[有価物化] C --> E[再資源化] end subgraph "強酸" F[強酸] --> G[中和] F --> H[中和] G --> I[混合イタリオン化] H --> J[焼成] I --> K[有価物化] J --> L[路盤材利用] end subgraph "強アルカリ" M[強アルカリ] --> N[中和] M --> O[中和] M --> P[焼却] N --> Q[混合イタリオン化] O --> R[有価物化] P --> S[再資源化] Q --> T[再資源化] end end </pre> <p style="text-align: center; font-size: small;"> → 廃棄物処理の流れ □ 委託処理の範囲 </p>

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 3 年度）実績】 別紙 第2面-2参照		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組) 発生抑制 工程内リサイクルの実施 発生抑制を考慮した製造方法の検討 再生利用 資源化、燃料利用の推進 再生利用ルートの確保 分別回収による有価物化		
②計画	【目標】 別紙 第2面-2参照		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き引火性廃液の分別回収により、有価物化することで廃棄物の削減を図る。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 引火性廃油 洗浄廃液の分別による有価物化
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 引火性廃油 今後も上記内容を徹底し、有価物量を増やしていく。

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

		【前年度（令和 3年度）実績】			
①現状	特別管理産業廃棄物の種類	/		/	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0	t	0	t
	(これまでに実施した取組) 自ら再生利用は行っていない。				
②計画	【目標】				
	特別管理産業廃棄物の種類	/		/	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0	t	0	t
	(今後実施する予定の取組) 今後も自ら再生利用を行う計画はない。				

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

		【前年度（ 3年度）実績】			
①現状	特別管理産業廃棄物の種類	/		/	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0	t	0	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0	t	0	t
	(これまでに実施した取組) 自ら中間処理は行っていない。				
②計画	【目標】				
	特別管理産業廃棄物の種類	/		/	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0	t	0	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0	t	0	t
(今後実施する予定の取組) 今後も自ら中間処理を行う計画はない。					

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（平成 3 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	/	
	自ら埋立処分を行なった特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 自ら埋立処分を実施したことはない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	/	
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 引き続き埋立処分を実施する予定はない。		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（平成 3 年度）実績】 別紙 第4面-2参照		
	特別管理産業廃棄物の種類	/	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組） 最終処分量の削減、再生利用の拡大等について、数値目標及びその達成時期を定め実施。		

(第5面)

②計画	【目標】 別紙 第5面-2参照	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	全 処 理 委 託 量	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t
	(今後実施する予定の取組) 優良認定処理業者、再生利用業者への委託を継続する。	
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（平成 3年度）実績】	
	特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	254.686 t
※事務処理欄	(今後実施する予定の取組等) 鉄道貨物に関連する収集運搬業者も令和2年度より電子対応開始。 完全電子化に対応。	

(第6面)

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項						
①現状	【前年度（令和3年度）実績】 254.686 t					
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	引火性（有害）	強酸	強アルカリ	廃油（有害）
	排出量	224.066	0.007	8.382	22.206	0.0045
	特別管理産業廃棄物の種類	汚泥（有害）	廃酸（有害）	廃アルカリ（有害）	廃水銀	
	排出量	0.0005	0.0003	0.020		
②計画	【目標】 265.019 t					
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	引火性（有害）	強酸	強アルカリ	廃油（有害）
	排出量	230.000	0.001	10.000	25.000	0.010
	特別管理産業廃棄物の種類	汚泥（有害）	廃酸（有害）	廃アルカリ（有害）	廃水銀	
	排出量	0.001	0.001	0.001	0.005	

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		254.686 t				
	特別管理産業廃棄物の種類		引火性廃油	引火性（有害）	強酸	強アルカリ	廃油（有害）
	全処理委託量		224.066 t	0.007 t	8.382 t	22.206 t	0.005 t
		優良認定処理業者への処理委託量	62.120 t	0.007 t	8.342 t	0.216 t	0.005 t
		再生利用業者への処理委託量	161.946 t	0 t	0.040 t	21.990 t	0 t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	特別管理産業廃棄物の種類		汚泥（有害）	廃酸（有害）	廃アルカリ（有害）	廃水銀	
	全処理委託量		0.0005 t	0.0003 t	0.02 t	0 t	
		優良認定処理業者への処理委託量	0.0005 t	0.0003 t	0.02 t	0 t	
		再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	

②計画	【目標】 265.019t						
	特別管理産業廃棄物の種類	引火性廃油	引火性(有害)	強酸	強アルカリ	廃油(有害)	
	全処理委託量	230 t	0.001t	10 t	25 t	0.01t	
	優良認定処理業者への処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	70 t	0.001t	9.5 t	0.5 t	0.01t
		再生利用業者への処理委託量	160 t	0 t	0.5 t	24.5 t	0 t
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
	特別管理産業廃棄物の種類	汚泥(有害)	廃酸(有害)	廃水銀	廃水銀		
	全処理委託量	0.001t	0.001t	0.001t	0.005t		
	優良認定処理業者への処理委託量	優良認定処理業者への処理委託量	0.001t	0.001t	0.001t	0.005t	
		再生利用業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	
		認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t	0 t	